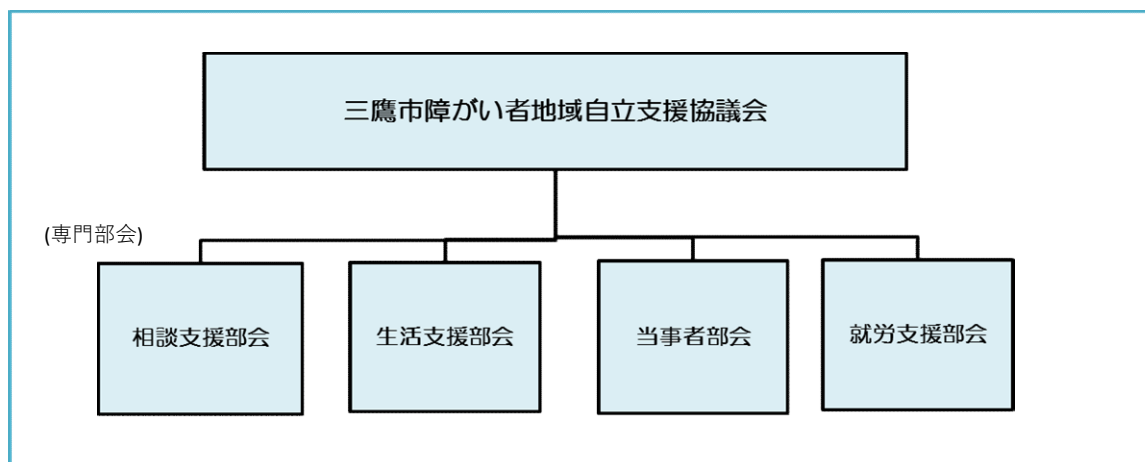


専門部会について

(1) 専門部会の構成について



(2) 役割分担について

No,	項目	部会長	部会メンバー	事務局
1	日程調整	● (初回以降)		● (初回)
2	部会進行	●		
3	専門部会 報告書		●	
4	会議室の確保		●	●
5	会場設営オンライン準備		●	●
6	資料提供		●	●

※当事者部会については、別途役割分担についてご相談させていただきます。

(3) メールアドレスの共有について

各部会で部会メンバーのメールアドレスを共有したいと思いますので、差し支えがある場合は
11月9日(木)までに事務局にご連絡下さい。

専門部会 報告書

専門部会名	就労支援部会	出席者	(委 員)工藤 加藤 海老原 (事業所)本多 (事務局)庄司
-------	--------	-----	--------------------------------------

議題
1 部会長及び、役割分担決め(書記など) 2 今期の議題 3 モデルケースの振返り 4 年間スケジュール(開催時期や、回数など) 5 その他
内容
1 部会長 工藤委員 書記 未定 2 今期の議題 ・モデルケースについては、課題整理等し今後の体制を検討していく。 ・短時間就労に興味がある事業所でワーキングチームを作り、情報共有や企業に対しての説明会等実施していく。 3 モデルケースの振返り(事業所の本田様参加) モデルケースに参加した事業所の方に声をかけ、昨年度のモデルケースの振返りを実施した。 共同受注のモデルケースは第5期から開始し、当初は、事業所間の交流を深める事が目的だった。共同受注を実施するうえでの事務局の設置が第5期からの課題であり、第6期でも課題であった。 工賃がない状態でモデルケースを進めていくのは厳しいため、就労支援部会で今一度課題を整理し、今後の体制について話し合う。 4 年間スケジュール(開催時期や、回数など) 開催時期:未定 回数:年4～5回程度だが、メンバーの予定等によって随時調整する。 5 その他 次回の開催は未定だが、内容としては、前期に短時間就労について市内の事業所の方にアンケートを実施したので、回答していただいた事業所の方と短時間就労について話し合えるような会を開催する予定。
次回の議題
・短時間就労についての情報共有等していく。

専門部会 報告書

専門部会名	相談支援部会(企画会)	出席者	(委員)大野、鶴田、春日、高橋、岡田 (市、事務局)荻野、藤井、川上
-------	-------------	-----	---------------------------------------

議題
1 部会長、書記決め 2 今期の議題 3 年間スケジュール 4 その他
内容
1 部会長、書記決め 部会長 大野委員、書記は原則持ち回りとする。今回の書記は岡田委員 今期副部会長を設けることとし、鶴田委員に副部会長をお願いした。 2 今期の議題 ライフステージによって切れ目のない支援～家族支援～をテーマとする。 令和5年度は子どもが18歳、親が50代で介護保険2号被保険者、姉がひきこもりという家族を想定して 架空事例を作成する。架空事例は鶴田委員と大野委員が案を作成する。 3 年間スケジュール 開催回数:令和5年度の部会は1回とする。 開催時期:令和6年1月～2月の間に開催する。 なお、令和6年度以降は上半期、下半期各1回の2回/年とする。 4 その他 次回の企画会は、令和5年11月10日(金)午前9時30分から三鷹市教育センター3階三中研で開催。 今期の部会では、障害と高齢でのディベート形式を検討する。 相手の立場にたって(障害の支援を高齢関係者が高齢の支援を障害の関係者が)検討する形式についても検討する。 部会に向けて、大野委員が包括に、鶴田委員が子ども関係に、荻野が高齢者支援課に声かけする。
次回の議題
次回は、部会に向けての架空事例の検討を行う。

専門部会 報告書(記入例)

専門部会名	生活支援部会	出席者	中野 弘子 豊田 未知 中野 昭精 加藤 亮一 吉田 純子 瀧澤 勤 事務局:波照間 井上 渡邊 池田
-------	--------	-----	--

議題
1. 部会長及び書記の選出 2. 議題選定 3. 年間スケジュール確認(開催時期や、回数など) 4. その他
内容
1. 部会長 保留 書記 保留 2. 今期の議題 【提案された内容】 「災害予防」 ・テーマが大きいため、それだけで一つの部会を立ち上げることが必要かもしれない。 ・災害対応について(自助、共助、公助)どの部分を、部会で取り扱うか。 「親亡き後に対する予防」 ・一般の方への投げかけとして、障がい者週間等でイベント開催をしたらどうか。 ・事前の備え、啓発活動の難しさあり。当事者同士のほうが気楽に話せるのではないか。 ・児童の支援者からすると、親亡き後のテーマは遠い感じがする。成功例を先輩親から聞くほうがわかりやすい。 「GHの課題(報酬改定)」 障害支援区分が低い利用者に対し、事業者として、市としての立場からどう考えていくか。 「居場所」 ・高齢の家庭を含め、子ども～大人までの居場所が必要。 ・子ども、発達障害の方への対応。学校でない居場所づくり。 ・居場所づくりの大切さ。居場所がなければ、地域で生活しようにもできない。 ・障害者手帳を所持していない、生きづらさを抱えた方が利用できる場所づくり。 「教育との連携」 ・不登校児の増加。教育関係との連携、子ども発達支援センターとの連携。 ・生きづらさを自覚し、発信することができるように、自覚することを学べる場があれば… ・生きづらさを学ぶための教育、長く関わる教育現場で三鷹独自で何かできることがあるか。 ※共通項…予防、居場所、三鷹独自の… 3. 年間スケジュール(開催時期や、回数など) 開催時期:未定 回数:未定 4. その他 次回の開催予定 【日時】令和5年11月14日(火)午後6～8時 【場所】三鷹市井の頭2-13-6 「ピアいのかしら」1階談話室
次回の議題
次回は、部会長及び書記の選出、提案された意見から今期の課題(テーマ)の選定を行う。

専門部会 報告書

専門部会名	令和5年度第1回当事者部会	出席者	(委員)赤岡 (当事者)桧垣、南雲(対面)、山崎、田島 (zoom参加) (支援員)瀧澤、岡田 (市、事務局)本吉、桐生
-------	---------------	-----	--

議題
1 部会長、書記決め 2 今期の議題 3 年間スケジュール 4 その他
内容
(部会是对面とZoomのハイブリッドで行った) 1 部会長、書記決め 部会長は次回決める。書記は岡田 部会長が決まるまでの間、自立支援協議会での発言は、瀧澤か岡田が行う。 2 今期の議題 前期(第6期)の積み残しに今期も取り組んでいく。引き続き防災について取り組んでいく。 今困っていることを計画に掲載できないか検討していく。 3 年間スケジュール 開催回数:三鷹市障がい者(児)地域自立支援協議会の前に開催する。 開催時期:次回は令和5年11月中に開催する。 4 その他 今期は本会の前に当事者部会を開催することにした。 今期から部会に3人の支援員をつけた。 当事者部会メンバーの名簿(メーリングリスト含む)を作成する。 パブリックコメント実施時期を変えてほしい、期間を長くしてほしい。市政窓口書類を置いてほしい。
次回の議題
次回は、部会長を決める。また、部会の開催時間について話し合う。